

大崎市民ギャラリー緒絶の館 所蔵作品展 2025

「緒絶の館に住まう動物たち」 開催のお知らせ



秋山巖「兄弟げんか」1975年 木版画

1. 展覧会名 大崎市民ギャラリー緒絶の館 所蔵作品展 2025「緒絶の館に住まう動物たち」
2. 会 期 令和7年7月2日(水)～7月13日(日)12日間 会期中無休
3. 開館時間 午前10時～午後5時
4. 会 場 大崎市民ギャラリー緒絶の館 第1・2・3展示室、回廊
5. 主 催 大崎市教育委員会
6. 観 覧 料 無 料
7. 展示内容 書、日本画、洋画、版画 約30点

会期中イベント

◆ギャラリートーク

日時:7月6日(日曜日)10時30分から(約30分)

担当学芸員が展示の見どころについてお話しします。

◆おしゃべりな鑑賞会

日時:7月12日(土曜日)10時30分から(約45分)

担当学芸員と一緒に対話を通して鑑賞を楽しみます。話しながら鑑賞を楽しみたい人におすすめです。

開催概要

この度、大崎市民ギャラリー緒絶の館では、下記の通り、大崎市民ギャラリー緒絶の館 所蔵作品展 2025「緒絶の館に住まう動物たち」を開催いたします。所蔵作品展は、市民ギャラリーで所蔵している地元ゆかりの作家の絵画・書などの作品340点の中から毎年一部を公開し、地元作家とその作品を紹介することで美術を身近に感じ、より多くの市民が美術への関心を高めることを目的としています。

本展では、書家・加藤翠柳(かとうすいりゅう)、洋画家・渋谷榮太郎(しぶやえいたろう)、宍戸章(ししどあきら)、白鳥三郎(しらとりさぶろう)、日本画家・岩城照夫(いわきてるお)など地域ゆかりの作家や、版画家・秋山巖(あきやまいわお、大分県出身)、書家・大澤雅休(おおさわがきゅう、群馬県出身)らの作品約30点を紹介します。今回のテーマは「動物」です。作品にはどんな動物たちが登場するのでしょうか。美術の中の動物、作家との関係性、表現方法など、さまざまな視点をご覧ください。

参考作品

なお、作品のお問合せほか、ご質問等ありましたら下記までご連絡ください。



加藤翠柳《朝》昭和24年頃



渋谷榮太郎《避暑地の庭》1930年



白鳥三郎《遊牧の民》不詳



岩城照夫 タイトル・制作年不詳

大崎市教育委員会生涯学習課

大崎市民ギャラリー緒絶の館(をだえのやかた)

担当:井上・阿部

〒989-6154 宮城県大崎市古川三日町一丁目1番1号

TEL 0229-21-1466 FAX 0229-22-6010

e-mail: f-gallery@city.osaki.miyagi.jp